

令和4年度 第2回清瀬市男女平等推進委員会 議事録

日 時：令和4年10月13日（木） 午前10時～正午

会 場：男女共同参画センター 会議室1・2

出席者：橋本委員長 近藤副委員長 佐藤（眞）委員 松村委員 佐藤（良）委員
原田委員 鈴木委員 松本委員 山口委員 田村委員 内野委員 長沼委員

事務局：企画部男女共同参画センター

◎⇒委員からの発言

■議題

1 令和4年度男女平等推進捗状況調査結果の評価・コメントについて

委員長：本日はグループに分かれて話し合いいただく。領域ごとに統一した見解を出していただきたい。

⇒前半40分・後半40分でグループに分かれて評価について調整をした。

2 各課への質問・ヒアリングについて

事務局：各課への質問への回答は提示したとおりである。追加の質問やヒアリングの希望がある場合には、各課の回答を参考に評価を決定することを踏まえると、10月18日までに事務局へメールでご連絡いただきたい。

3 今後について

・中間見直しに向けて

事務局：令和5年度にプランの見直しを行うにあたり、第3次男女平等推進プランの指標の実績データが必要になる。平成28年度に実施したような男女平等に関する意識・実態調査を実施することの必要性について検討したが、結果、経費節約の観点から市民調査は実施せずに、令和5年に実施予定の清瀬市世論調査に項目の追加、変更を要望するのが適切ではないかと思っている。

指標はプランのなかに掲載されているのでご確認ください。

市職員の女性管理職の割合などは市民調査をしなくてもよいし、指標そのものが現時点の状況に照らし合わせて不適切なものもあると思う。

委員長：市全体の調査に、ジェンダー関連の項目がどの程度、反映できるかわからないが、入れる要望をするということである。

掘りこんだ質問はできないと思うが、どんな場面で男女不平等を感じるか、などは質問項目として入れられるのではないか。

「男女差別を感じるか」だけでは、次の問題解決にしようということにつながる。やはりもう少し深く掘り下げて、家庭・職場・地域など場面ごとに聞く必要があると思う。次回の委員会からもう少し具体的にプランの見直しについて検討していくということか。

事務局：そうである。もう少し具体的に話し合う時間をいただければと考えている。

委員長：センターの事業として実施するのが適切でない事業もあるようだ。そういう事業についてもどこの課で実施するのが最適か、検討していく。各課の仕事の内容も知ったうえでやっていかなければいけない。

住民としての観点でもう一度、見直していただきたい。清瀬市がジェンダー平等な市になるように、できれば若い人たちが、もっと移り住んでくる市になるようにできればと願っている。

◎市民調査の実施時期や、結果が出るのはいつなのか。

事務局：次年度であるが、時期についての詳細は決まっていない。

◎来年度に実施する市民調査の結果の指標について、参考にすることができないのか。

事務局：これまでの例であると、年度途中に出るのではないかと推測される。

◎直近で実施されたのはいつか。

事務局：令和2年度のデータはある。

委員長：今後はプランの改訂にも参考になるように調査項目を変更することを、調査を実施する課に要望するということである。

◎次回までにグループの評価をまとめてくるということだが、次回の委員会の前に他のグループの評価も確認をしたい。

事務局：各課へ追加の質問がないグループについては、10月31日までに評価をまとめて事務局へ提出いただき、情報共有する。

委員長：各グループで評価を作成していく中で、どこが一番問題だったか、もあれば次回の委員会で全体に共有していただきたい。

・次回のスケジュール

11月18日（金）午前10時～正午

以上